

知ってください 子ども用車椅子

のこと



『折りたたみません』

これは車椅子です。座る姿勢が取れないなどの身体的特徴から、車体を折りたたむことは容易ではありません。

『重量があります』

車椅子自体の重量に加え、医療機器を搭載している場合もあります。車体を持ち上げて大きな段差などを越えることは非常に困難です。

『子ども用車椅子マークもあります』

「子ども車いす」や「子ども用車いす」などと表示したマークを付けている方もいます。

周囲の方へ

- 街なかで見かけたら、そっと見守りましょう。
- 困っている様子が見られたら、声をかけてみましょう。

これは子ども用車椅子です。病気や障害が理由で、**“これがないと移動できない”**子どもたちが使用しています。みなさまのご理解、温かい配慮をお願いいたします。

※ベビーカーを車椅子と同じ目的で使用している場合もあります。

現状と課題

- 子ども用車椅子について、子どもが使用していると、その外観からベビーカーと誤認されてしまうことが多く、電車やバスの車内で折りたたむよう周囲から言われる等の事例が発生している。
- 子ども用車椅子を使用しなければ外出できない肢体不自由児がいるが、その認知度は低い。
- 昨年国会において、子ども用車椅子に対する理解が低いことから広く周知していくことが必要である旨発言があったところ。

対応状況

- 昨年4月、子ども用車椅子の存在について、利用者等に対し周知を行うなど、当該車椅子に乗ったまま円滑に各種施設・設備等を利用出来るよう、ご理解・ご協力を依頼。
- 国土交通省において、子ども用車椅子についての理解・配慮をお願いするポスター（B1版（縦）、B3版（横）の2種類）を作成。

今後の対応

- ポスターの必要枚数を調査し、8月中に発送させていただく予定。
- 8月以降、駅や車内等に掲出する等、子ども用車椅子の理解・配慮の取組に協力をお願いしたい。